



黄砂にかすむ猿投山。春と言えば春霞で春の風物詩として趣が感じられますが、黄砂がやって来ると様々な物質を吸着して花粉症を助長すると聞くと早く去ってほしいと思ってしまいます。新緑がとてもきれいな日でした。



ヒシモンナガタマムシ
体長 8 ミリ。濃いワインレッドの菱形紋が特徴です。朽木で見つかるタマムシの仲間。



ヒメハナバチの一種
体長 10 ミリ。全身に黄色い花粉をつけています。後脚には花粉がたくさんつけられるように毛が生えています。地表に穴を掘って巣を作ります。



ヒメハギ 常緑の多年草で、日当たりの良い場所で見られます。昆虫が白い毛のような附属体に止まるとおしべやめしべが顔を出すという仕掛けになっています。



キボシマルトビムシ
体長 0.5 ミリ。虫眼鏡の視野に入ってきて気づきました。



クスノキ 紅葉した古い葉が葉が落ちる頃、新しい緑の葉が伸びてきます。落ちた葉や枝はよい匂いがします。昔はクスノキから防虫剤の樟脳を作っていました。



アマガエル 緑のまだら模様をしたちょっとおしゃれなカエルでした。体の割に大きな声でゲッゲッつと鳴き始めると春たけなわという感じがします。



シロブチサラグモ
側溝に巣を張っていました。皿のような網を張ります。



チャエダシヤク幼虫

木からぶら下がっていた 10ミリの初齢幼虫。コナラ



やクワが食草です。



ヤママユ卵

冬にコナラの枝で見つかった卵です。新しい葉が出た今、固いからに穴を開けて、孵化していました。葉の色に紛れる色なので発見できませんでした。



ベニヘリテントウ幼虫



オオワラジカイガラムシ(左下雌幼虫)の天敵



で、擬木上のあちこちにいました。成虫は 5ミリくらいです。



泡ふき虫の巣

春になると、木の枝や草の茎につく白い泡は、泡ふき虫というカメムシの仲間のダイニンググループです。この中にいて安全に食事をしているのでしょう。



ユミアシゴミムシダマシ

体長 25ミリ。前脚が弓のように湾曲しています。ゴミムシに似た昆虫でゴミムシダマシです。ゴミムシのように肉食ではなく、幼虫も成虫も枯木や菌類を食べています。



オニグルミ



木曽川の上流からドンブラッコッコと流れて来て発芽したものです。上が雌花、左が雄花です。

植物 ニホンタンポポ、カラスノエンドウ類他2種、オオイヌノフグリ、オオジシバリ、ナガミヒナゲシ、コハコベ、ノミノツツリ、ハナイバナ、ヒメハギ、スマレ、アリアケスマレ、イモカタバミ、スズメノヤリ、アゼスゲ、スイセン、ソメイヨシノ残花、イロハモミジ、オオモミジ、ヤマブキ、クヌギ、コバノミツバツツジ、ミヤマガマズミ、クリシマツツジ、ヤマモモ、イスノキ、オニグルミ、ネズ、アカマツ、サルトリイバラ、ミツバアケビ、目立つ新葉(イチョウ、タブノキ、コナラ、クスノキ、ハギ類)、 **昆虫** キタキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ナミアゲハ、ヤママユ卵(孵化していた)、ヤマトカギバ、チャエダシヤク幼虫、ハマキガ類幼虫、みの虫(ニトベミノガ)、ハラヒシバツタ、キリギリス幼虫、ナナフシ幼虫、ハバチ類幼虫、ヒメヒメバチ類、マルカメムシ、オオワラジカイガラムシ幼虫、シロオビアワフキ幼虫と巣、ニイニイゼミ羽化殻、アミガサハゴロモ似の外来種産卵痕、ヒシモンナガタマムシ、ベニヘリテントウ幼虫(擬木上に多数)、チビクワガタ、ナナホシテントウと幼虫、ユミアシゴミムシダマシ、イチモンジカメノコハムシ、クロヤマアリ、アミアリ、トビイロシワアリ、ウメマツオオアリ、マカリケムシヒキ、ミナミヒメヒラタアブ、ツマグロキンバエ、ヤドリバエ類、アオヒゲナガトビケラ、キボシマルトビムシ、 **蜘蛛** ジョロウグモ卵のう、ウロコアシナガグモ、チュウガタシロカネグモ、シロブチサラグモ、ギンメッキゴミグモと巣ウツキコモリグモ、アサヒエビグモ、 **鳥、その他** シジウカラ、コゲラ声、オオバン、カワウ、アマガエル、トカゲ、カナヘビ、ウスカワマイマイ、虫瘤(イスノキエダイボクロフシ、イスノキハタマフシ)、 **次回5月11日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円**